

昭和デー

懐かしの漫画・雑誌を読んだり、レコードを聴いたりして、昭和の空気を感じましょう。

- とき 3月12日 日・13日 日
 - ところ 1階エントランス
- ※入場無料



清田の大クス保全ボランティア募集

国指定天然記念物「清田の大クス」の保全活動ボランティアを随時募集中です。

- とき 毎年2～3回 ※登録者に事前連絡します。
- 対象 どなたでも(小学生以下は保護者同伴)
- 申し込み 直接、電話、メールで住所・氏名・電話番号・年齢を博物館(✉ museum@city.gamagori.lg.jp)へ。
- その他 保全に使用する古いすだれ、よしずを集めています。



竹島水族館 Aquarium ☎ 68-2059

館長の
ひなこちゃん

小林龍二

形原・西浦の漁師さんたちの絶大な協力によって、この季節は水族館へ海の底の不思議生物たちが続々とやってきます。最近はやドカリの仲間御一行様が増えてきて水槽を賑わせています。

なかにはまったく名前がわからないものもあります。そういったものはそういったことが好きで、あるいはそういったことを調べたくて仕方がなさそうなスタッフが志願して名前を特定します。あれは志願ではない、強制だ。と言いつつ張り出してきて調査を開始します。捕獲された住所不定無職自称ヤドカリを透明ケースに入れて担当スタッフは上下左右西南北あらゆる角度から眺めて取り調べを行い、どこで獲れたのか、深さ何メートルの場所かなど関係者(漁師さん)に事情聴取をします。その間、容疑者(ヤドカリ)は凶器(ハサミ)を振り回して「おら何も知らねえ、何

もやってねえだ」と興奮した様子ですが、そばに行つてやさしく背中(貝殻)をなでてやると落ち着いて観念します。場合によっては田舎の母親のことを話したり、かつ井の出前を取つてやったり、ということはヤドカリの場合は、無いです。

担当スタッフは凶鑑のあつちとこつちを交互に何度も見たり、大学の専門家や研究者に問い合わせたりしながら名前や生態、これまでの国内報告記録などを調べます。最近では竹島水族館では初記録、全国で2例目の捕獲記録、水族館での展示は初めて、といった珍種も多くて、こうなるとさすがに容疑者でない私も興奮してしまいます。



落ち着いた様子の容疑者(ヤドカリ)